



日野市長 馬場弘融

＜2面からの続き＞
陣内 今、市民と一緒に「日野塾」というワークショップを行っています。
 そこにはさまざまな方が来ていますが、みんな自分の地域を知りたいという好奇心が旺盛なのです。
 初めて活動に参加された方も多く、これをきっかけに地域を見直して人の輪が広がれば、日野市の潜在能力も上がっていくと思います。
市長 行政が上手く、そのような方たちの考えを取り入れて、自分たちの発想がまちづくりに生かされていると実感出来ればいいと思います。
主体的に責任を持ち一人ひとりが公民としてまちづくりにかかわる
陣内 そして、もうひとつ。2年前からかかわっている「仲田の森遺産発見プロジェクト」。日野本町の国の蚕糸試験場の跡地に手付かずの森や用水が流れています。行政と市民が意見交換やイベントをしたりして、その環境を残そうと活動しています。
市長 野生的な森ですが、それを今の人たちが見ていいと感じています。残されている古い建物を修復して、美術館や、地元野菜を使ったレストランにしてみれば面白いと思います。
 あの場所の一角には、平成24年に体育館機能を持つ複合施設

が建ちますが、それ以外のところは、出来るだけ緑を残そうと考えています。
陣内 子どもたちにとっても整備された公園で遊ぶよりもいいですよ。自然の森ですから。
市長 映画監督の宮崎駿さんが「危なくないと子どもは育たない」と言っています。安全第一は大切ですが、少しの怪我もいけないとなると、子どもは育たないですね。
陣内 市長はよく「公民」とおっしゃるけど、自分たちが責任を持ち、積極的にかかわる公民として市民の皆さんが行動してくれるといいですね。
市長 最近はこの公民の考え方に賛同してくれる方も出てきてくれるようになりました。
 用水を守るのもこの公民の考え方に通じるのですが、掃除からすべて行政にお願いしきりではなく、自分たちでこみはさりましたので、行政はごみを回収してくれとか。そういうような行政と市民の関係が築ければいいと思います。
陣内 私も、日野市が持つ自然や歴史遺産を守るため、市民の皆さんが主体的に責任を持ってかかわって欲しいと思います。多分こういふことから公民に向けた活動が始まるのではないかと思います。
市長 それが市内じゅうに広がればと思いますね。
 あとひとつ、自然を守るという話をすると、産業振興などの面から、まちが活性化しないのではと言われてしまうことが多いのです。今後、景観を復元するようなことを公共事業で行えば、大勢の人がかかわるし、いろいろなノウハウがそこに投入される。21世紀型の地域づく



日野用水クリーンデーには大学生の姿も

り・まちづくりとして経済活性化に役立つかもしれません。

日野市らしい地域づくりを

陣内 今、イタリアからスローフード、スローシティ(注6)という質の高い生活環境を求めようという新しい考え方が発信されています。
 これからは、新しい視点で自分のまちの強み・アイデンティティを自覚し、そこを伸ばしていく。そうすれば、まちに元気が出て経済力の強化にも繋がっていくと思います。
 今、人々が何に関心があるかというところ、農業や自然とかかわりたいとか豊かな環境が欲しいという事です。これは、世界に共通しています。
市長 身のまわりに緑と潤いがあり、田畑を散策出来ること、これこそがレベルの高い生活ではないかという考えに、やっとなどり着きました。私たちは、そういう時代に合ったまちづくりをしていくべきなのですね。
陣内 今後のまちづくりは、夢やビジョンをその発想の展開が分かる形で市民に伝えていくべきだと思えます。
市長 私は行政の取り組みに、先生方の研究要素が加わると力強い非常に説得力のあるものになると思っています。そういう点では、法政大学との研究が、わがまちの今後の施策の展開に大きな方向付けを与えてくれると思います。

なると思っています。
自治に親しみ 自治を楽しむ
市長 平成25年に市政50周年を迎えます。また同じ年、東京都では国民体育大会が開催され日野市も予定地とされています。現在、それらを踏まえ新しいまちづくりに踏み出そうと第5次基本構想・基本計画や第2次環境基本計画などを作っています。

陣内 21世紀型の日野市のまちづくりは、地域の特性に合わせ、手づくりで一人ひとりが主体的にかかわっていただく、そのような形になればと思います。
 私は、市の今年のテーマを、自治に親しみ 自治を楽しむとしました。市民の皆さんが、自分たちのまちに誇りを持ち、楽しみながら日野市らしいまちづくりにかかわって欲しいと思います。そして、皆さんが、かかわりたいと思えるまちにしたいのです。
陣内 自然と上手く共存するまちという一番新しいまちづくりの課題にチャレンジされて、日野市発の地域づくりを近い将来紹介出来るかもしれませんね。
市長 これまでこの地に生きてきた人々が一所懸命努力して、まちを守ってきた。私たちは、このことをしっかりと受け止めて次の世代に渡していかなければなりません。
陣内 我々も、研究を通じて日野市に貢献出来ればと思います。
市長 大変貴重なお話をありがとうございました。

まちの話

■全日本ジュニアテニス選手権2010で豊田在住の細沼千紗さんが優勝！



8月5日〜17日に大阪市鞍部テニスセンターで行われた全日本ジュニアテニス選手権で、豊田在住の細沼千紗さん(写真中央)が、14歳女子ダブルスの部で優勝されました。
 今後の活躍が楽しみです。
 ■平成22年度中学生の「税についての作文」受賞者を発表
 11月22日、南多摩納税貯蓄組合連合会主催の作文コンクールの表彰式が行われ、市内の中学生3年生89人の応募の中から次の方々が表彰されました(敬称略)。
 市長賞：後藤優奈(三沢中)、南多摩納税貯蓄組合連合会会長

賞：石川博晟(平山中)、東京都八王子都税事務所長賞：鈴木裕季菜(二中)、国税庁長官賞：小池翔子(三沢中)、東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞：赤松里佳(一中)、南多摩納税貯蓄組合連合会優秀賞：赤松里佳(一中)ほか11人
 ■都市農地を守るための要望書を国に提出



11月18日、市街化区域内に農地を持つ都内の38の自治体で構成され、日野市長が副会長を務める都市農地保全推進自治体協議会が、農林水産省に農地の重要性を訴えるとともに、都市農地の減少を極力抑えることが出来るよう、都市農地保全を推進するための要望についてを提出しました。
 国土交通省に対しては、11月22日に別途要望しました。

日野市成人式

対象者には12月中旬に案内状を送付しました。案内状が届かない場合でも該当する方は直接会場にお越しください。
 1月10日(祝)午前11時〜午後0時30分 受け付けは午前10時30分から ひの煉瓦ホール(市民会館) 車での来場はご遠慮を。市民プラザにて記

(広告)

サラ金・クレジット問題でお悩みの方、支払い終わった方

○債務整理の方法は自己破産ではありません。
 ○「任意整理」という方法は、取引期間などにより借金が減額できる可能性があり、場合によってはお金が戻ってくる場合があります(過払金)。
 ○支払い終わった方でも過払金が生じていることがありますので、支払い終わってから10年たっていない方はご相談下さい。
 ○契約書や領収書などを保存してなくても、手続きできる場合が多いので、そのような場合でもご遠慮なく相談ください。

認定司法書士に債務整理を委任すると、ほとんどの場合、業者から本人への取立は止まりますのでご安心下さい。

費用は分割にできます

高幡司法書士事務所 完全電話予約制 042-506-9856
 東京司法書士会所属 司法書士 坂本英三
 東京都日野市高幡1009-7-403号
 ◆京王線、多摩モノレール高幡不動駅下車徒歩1分・コインパーキング(有料)あり
 ◆電話受付時間：平日9時〜18時(平日夜、土・日・祝は事前要予約)
 ※業務は司法書士法第3条の範囲内となります

お見積無料 日野市の造園業者です

○お庭を驚くほどきれいに!!
 ○安く!すばやく!丁寧に!
 ○すべて1本単位からでも承ります!!
 価格を他社と比較してください!

さきやま造園 TEL/FAX 0120-977-028
 携帯(崎山) 090-3513-8293
 ホームページ http://e-niwa.in